

白鳩保育園

建物の老朽化と定員増に伴う園舎の建て替え事業である。当園は近接の九州大学移転(転出)後、急速に市街地の再編が進む地区にある。集合住宅の増加に伴い、保育所のニーズも高まっている。敷地は狭隘かつ不整形である上に周囲をマンションに囲まれている。仮園舎の適地も見当たらず、現園庭の限られたスペースへの建設を余儀なくされた。そのため、保育現場からの要請、関係法令のクリアにとどまらず、基本計画時点より工事動線計画の必要にも迫られた。結果、工事の手順が建築計画にも影響するかたちとなり、その意味では全体がリジッドで遊びのない計画となった。周辺の住宅への騒音対策、見下ろしとなる視線制御など市街地ならではの課題をクリアしながらも、西日対策の木製ルーバーを个性的にデザインして地域の景観へ貢献できたのではないと思う。



- 1 全景（夕景）
- 2 道路側外観
- 3 保育室